

## トップメッセージ( 営業の概況 )

合併効果や航空需要の回復により  
大幅な増益を実現。

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

前期は特に前半において、国際情勢不安やSARSなどにより航空関連需要が低下し、厳しい環境で推移いたしました。当中間期は概ね需要も回復し、当社を取り巻く事業環境は好転いたしました。

一方、本年1月の(株)JAS(ジェイエイス)トレーディングとの合併による効果も、当期からは通期で業績に貢献することとなり、当中間期においても顧客サービス事業などの増益に大きく寄与いたしました。

これらの要因と各事業における諸施策の奏功により、当中間期の業績は前中間期を大幅に上回り、期初予想の利益水準を達成することができました。

当期は、本年3月の東証1部上場(銘柄指定)後の実質的な初年度であるとともに、「毎期20%の利益成長」を掲げる新中期経営計画の実現に向けての重要な初年度でもあります。そのスタートにおいて、順調な業績により新たな飛躍へ向けての第一歩を踏み出したことは、株主の皆様、お取引先の皆様、日頃のご支援の賜物と深く感謝いたします。

また、今後につきましても、皆様方のご期待にお応えすべく確実な成長を目指し、企業価値向上のために尽力してまいります。

引き続き、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長  
横山 善太

### ■ 当中間期の業績の概況(2004年9月中間期)

当中間期は、国際旅客需要の大幅な回復により、成田空港免税店『JAL-DFS』や、国際線機内販売用免税品等の事業において大幅な増収増益となりました。また、JASトレーディングとの合併影響額(合併効果)の寄与により、空港店舗『BLUE SKY』においても大幅な増収増益となりました。

これら、顧客サービス事業を中心とした業績の好調な伸長により、当中間期の売上高は453.8億円(前中間期比120%)、売上総利益は111億円(同124%)、航空関連事業 17億円、生活提案事業 94億円と前中間期を上回りました。

また、合併に伴う人件費の増加などがあったものの、販売費及び一般管理費の増加を一定の水準に抑制し、営業利益11.4億円(同237%)、経常利益12.3億円(同210%)、中間純利益7.2億円(同284%)と、いずれも前中間期を大幅に上回る業績となりました。

### ■ 通期の業績の見通し(2005年3月期)

中間期において順調であった航空関連需要は、今後も概ね順調に推移するものと予想されます。

安定基盤である航空関連事業においては、当期よりスタートした航空機部品の保管・供給ビジネスの確立をはかり、JALグループ外の航空関連企業向け営業を強化してまいります。

また、生活提案事業では、通信販売における食品・健康分野商品の充実や、空港店舗におけるさらなる運営効率の向上など、引き続きリテールチャネルの強化を進めてまいります。

これらにより、通期の業績は期初予想のとおり、売上高1,020億円(前期比119%)、経常利益25.7億円(同134%)、当期純利益12億円(同111%)と、増収増益を見込んでいます。

さらに、中期経営計画において重要分野と位置づける「環境」「文化」「厚生」の3分野への新規事業展開を積極的に推進し、中長期的な企業価値の向上へ向けて邁進してまいります。

### 当中間期のセグメント別概況

